

－食品製造業アンケート－

国産原料を活用した加工食品輸出の現状と課題

令和3年3月

一般社団法人 食品需給研究センター



はじめに

この調査報告書は、令和元年度補正農林水産省補助事業「加工食品の輸出強化支援事業」の一環として、食品製造業を対象とし、国産原料を活用した加工食品輸出の現状と課題について、調査を実施し、結果をとりまとめたものです。

加工食品の輸出額は、2010年の2,027億円から、2019年には3,847億円と直近10年間で1.9倍と順調に拡大してきました。しかし、この輸出額が食品製造業の製造品出荷額等に占める割合は、2010年の0.7%から2018年には1.0%と上昇しているものの、きわめて低い水準となっています。

一方、食品製造業は既に海外に進出し、現地生産を行っており、経済産業省「海外事業活動基本調査」によれば、平成29年度の食品製造業の海外現地法人の企業数(回収数)は、521社で、合計売上高は5兆8千億円に達しています。

本調査の具体的な課題として、加工食品輸出の需要が順調に拡大するなかで、輸出事業の収益性、品目別輸出の実態と市場可能性、国産原料使用の優位性、輸出先の輸入規制とその対応、輸出額目標などについて、分析のとりまとめを行ったものです。

今後の国産原料を活用した加工食品輸出に取り組むうえで、参考になれば幸いです。

最後に、本調査の実施にあたり、ご協力いただいた食品製造業のみなさまに深く感謝いたします。

また、ご指導・ご協力いただいた農林水産省食料産業局食品製造課に対して、深く感謝いたします。

令和3年3月

一般社団法人食品需給研究センター

目 次

調査の内容と方法	1
要約	2
1 食品製造業における国産原料の使用状況	5
2 食品製造業における輸出の取組概要	6
(1) 食品製造業における輸出の取組状況	6
(2) 食品製造業のうち、輸出に取組のない企業におけるその理由	7
3 食品製造業における輸出事業の収益性	8
(1) 加工食品の輸出額	10
(2) 輸出事業におけるライフサイクル	10
(3) 輸出事業の収益性	11
4 加工食品の品目別の輸出市場の状況	12
(1) 主な輸出商品の主原料に占める国産原料の割合	12
(2) 主な輸出商品の現地販売価格（現地の競合品との比較）	13
(3) 主な輸出商品の輸出国における市場獲得の要因	14
(4) 主な輸出商品の今後の輸出可能性について	15
5 加工食品輸出における国産原料使用の優位性	16
(1) 国産原料使用によるおいしさの訴求について	16
(2) 国産原料使用の安心安全の訴求について	17
(3) 国産、輸入の原料の違いより、製造技術が鍵であること	18
(4) 主原料は国産も輸入も品質に大きな違いはない	19
(5) 国産原料は輸入原料に比べて製品価格が高くなる	20
6 加工食品の輸入規制とその対応	21
(1) 加工食品の輸出規制の内容	21
(2) 加工食品の輸出規制とその解決方法	21
7 食品製造業における輸出事業の課題	22
(1) 5年後の輸出額目標について	22
(2) 加工食品の輸出事業で直面する問題点と課題について	23

調査の内容と方法

調査の方法と回収状況

調査対象業種

食品製造業

調査の方法

調査票を郵送により、配布回収を行った。

調査の回収率

発送数 : 2,266 社

回収数 : 702 社

回収率 : 31%

回答企業の概要

業種	回収数(社)	うち、輸出実績あり(社)
計	702	302
畜産食料品製造業	81	13
水産食料品製造業	124	55
農産食料品製造業	40	18
調味料製造業	71	42
パン・菓子製造業	99	51
動植物油脂製造業	20	9
清涼飲料製造業	25	13
その他食料品製造業	242	101

調査の内容

- 1 食品製造業における国産原料の使用状況
- 2 食品製造業における輸出の取組概要
- 3 食品製造業における輸出事業の収益性
- 4 加工食品の品目別の輸出市場の状況
- 5 加工食品輸出における国産原料使用の優位性
- 6 加工食品の輸入規制とその対応
- 7 食品製造業における輸出事業の課題

調査の実施時期

令和2年7月～9月